



- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
「お金」の実感 作家 重松 清
- 4 インタビュー  
学ぶ 宮大工・「鵜工舎」主宰 小川三夫
- 9 地域の底力——上勝町  
株式会社いもどりを訪ねて 徳島県勝浦郡上勝町
- 15 column／一字千金  
日本経済団体連合会 副会長  
日本製造業の「強み」 新日本製鐵株式会社 代表取締役社長 三村明夫
- 16 対談／守・破・創  
古武術の身体操法を突き詰めていくと  
新時代の「学の体系」が見えてくる  
武術研究者 甲野善紀  
日本銀行副総裁 岩田一政
- 20 池上 彰のやさしい金融経済教室  
日銀は政府にとっての銀行でもある
- 24 にちぎんのある街から  
岡山——風土と歴史を活かす町作り
- 28 クローズアップ・あの日あの時  
日本を刷新した十日間——発券局OBの追想に見る「新円切り替え」
- 32 知るばると招待席  
金融広報中央委員会の18年度活動方針が決まりました
- 33 トピックス
- 35 AIR MAIL from HONG KONG  
城塞村を見守り続けた鉄の扉

## 表紙のことば

日本銀行旧岡山支店は、岡山城二之丸跡に、辰野金吾博士の弟子・長野宇平治の設計のもと、大正十一年に完成した。正面入り口に立つ四本のエンタシス柱が観る者に威風堂々とした印象を与え、コリント様式の柱頭飾りや壁一面に張り込まれた御影石、それらを取り巻く波状文様など、細部にわたり古代ギリシヤ様式の意匠がちりばめられている。日銀岡山支店は、昭和六十二年に現在の地に移転。建物と土地は県に売却され、平成十七年九月、岡山の新たな文化・芸術の創造拠点「ルネスホール」として生まれ変わった。コンサートやイベントが催されるその建物の目の前の通りには、市民の足・路面電車が走る。九州新幹線「つばめ」のデザインで知られる岡山県出身の水戸岡鋭治氏によって蘇ったレトロ電車の（通称「KURO」）が、街の風景に溶け込み、古きよき時代の雰囲気を出している。

